



支援は御「縁」から「始」まります。私たち4人の支援専門員が「縁」あって支援をさせていただくことから「支援→始縁だより」と名づけました。

# 始縁だより

発行 平成30年 5月号

重い防寒着から薄手の上着に替わり、身も心も軽くなってきましたが、朝、晩は気温がぐんと下がることもあり、まだまだ気はめげないですね。

4月は年度の始め、新しい気持ちでスタートができる月です。身近にも、大きく環境が変わった人や新しいチャレンジを始めた人もいることと思います。がんばれ!! のエールを贈るとともに、自分自身も新たな気持ちで前に進んでいきたいものですね。

## ◆平成30年4月 介護保険制度の改正：4つの柱◆

今回の改正では、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、質が高く効果的な介護の提供体制を整えていきます。

### 1. 地域包括ケアシステムの推進

⇒どこに住んでいても適切な医療、介護サービスを切れ目なく受けられる体制をつくる

### 2. 自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現

⇒介護保険の理念や目的を踏まえ、自立支援と要介護状態等の軽減又は悪化の防止を目的とする

### 3. 多様な人材の確保と生産性の向上

⇒人材の確保・育成・生産性の向上を通じた労働負担の軽減

### 4. 介護サービスの適正化・重点化を通じた制度の安定性・持続可能性の確保

⇒介護サービスの適正化・重点化を図り、介護保険制度が安定して持続できるようにする

## 《ごあいさつ》

支援センターかがやきも新入職員を迎えました。また、ケアマネジャーが1名、老人保健施設ライプリーハウス輝へ異動となり、在宅と施設、病院と、今まで以上に連携が取りやすい体制へと変わります。新しい気持ちで、皆さまの力になれるように頑張っていきたいと思っております。

### 【支援センター職員 自己紹介】

北添 浩史（きたぞえ ひろし）

4月から、介護支援専門員（ケアマネジャー）として働かせていただいています。

資格を取得した1年生です。新しいことだらけで毎日、右往左往しております。

いの町から通っていますが、1日でも早く皆さまのお力になれるよう、一所懸命頑張らせていただきます。

どうぞよろしくお願ひします。

### 【老人保健施設ライプリーハウス輝職員 自己紹介】

岡崎 千恵（おかざき ちえ）

4月からライプリーハウス輝で勤務させていただくことになりました。支援センターかがやき勤務中は、利用者様、家族様、地域の方、また関係者の皆様には大変お世話になりました。何も知らないところから始め6年間の月日でたくさんの方と出会い、様々な経験を積ませてもらいました。ひとつひとつの経験や出会いがケアマネとして成長することができ、私にとっての財産となっています。これからは施設の方の支援になりますが、在宅での経験を活かして私らしく元気に毎日をご過ごしていきます。また、支援センターかがやきに復帰した際には、成長した私を見てもらう事ができる様頑張ります。

